

ユネスコスクール週間の取組

「ユネスコスクールの日」が1月17日に制定されたのを記念して、その前後を「ユネスコスクール週間」として、各学校で、様々な取組が行われました。今号では、この中からいくつかの学校の取組について紹介します。

【甘木中学校】

新入生説明会の際に、現在小学6年生の児童や保護者に向けてESDに関わる取組のパネル紹介を行いました。

小中9か年を見通した学びについてのよい啓発活動となりました。

【平原小学校】

本校のESD活動について、理解していただくために、保護者、まち協、見守り隊の方々に説明する機会を設けました。交流している中国大同市第十八小学校の写真や作品、岡山市御休小学校からのビデオレターなどを紹介しました。また、消費者教育を中心に各学年の実践も見いただきました。

【橘中学校・吉野小学校】

校区の持続可能な社会構築のシンボルとして、吉野小学校が取り組む「桜プロジェクト」の趣旨に賛同し、桜の植樹を行いました。吉野のまちを再び桜の花につつまれたあたたかい町にしていくことを小中学生で確認しました。この幼木が成長し大樹となる頃には、子どもたちも成長し、このまちをつくる中核となる人材となって活躍してほしいという願いもこめられています。



大牟田市立三池小学校の実践

「三池地区地域体験学習」を通して

三池校区には、多くの史跡や文化財があります。三池小学校では、全学年で校区の史跡を巡る「地域体験学習」を実施しています。学年別に巡る場所を決め、三池地区にあるたくさんの史跡を6年間で学び続けるようにしています。本年度6年生は、「陸屋眼鏡橋」「新町彌剣神社」「高田行宮跡」など、歴史ボランティアガイドの方の詳しい説明を聞きながら、史跡を回りました。史跡や文化財に触れる活動を通して、三池の歴史や伝統を学び、三池地区のひと・もの・ことよさと地域への愛着を深める事ができました。



大牟田市立羽山台小学校の実践

ゴミ減量・リサイクル活動に取り組む4年生

4年生は、社会科で、大牟田市の分別収集やRDF燃料化によるゴミの減量について学びました。そこで培った考えから、校内にリサイクルボックスを設置し、ポスターを描いてリサイクルを呼びかけました。その後のクリーンアップ活動で、校区内に落ちている空き缶の多さに気付き、スチール缶のリサイクルについてさらに学ぶとともにもっと多くの人に啓発をしようと、全員でスチール缶リサイクル協会の「リサイクルポスターコンクール」に応募しました。

その結果、全国で1校の学校賞「学校団体活動賞」を受賞しました。これを機に、ますますリサイクル活動を行っていこうと、思いを深めています。

